

ENVIRONMENTAL RESPONSIBILITY

環境への取り組み

環境問題に対する基本的認識と姿勢について

山武グループは、"Savemation"の企業理念の下、制御技術を通して、お客様の工場、プラント、建物などの「最適と快適」「省エネルギーと省資源」を実現することで、地球環境と資源の保護に参画してまいりました。

同時に山武グループの工場においても、生産活動や生産プロセスだけではなく、製品の開発プロセスにおいても、環境を保全できる製品材料や製品構造の研究開発を実践してまいりました。

2000年3月までに国内主力3工場でISO14001の認証取得後3年経過の更新審査に合格し、工場での環境マネジメントシステムが継続的に改善を続け運営してきていることが証明されています。

今後もお客様の地球環境と資源の保護をお手伝いするとともに、経営の最重要課題の一つとして捉える地球環境保全への取り組みについては、グループの指針となる「山武グループ環境憲章」を制定して、これまでの生産事業所の他にグループの本社・営業所を加えた保全体制を整備することとしました。山武はグループで、省エネの取り組み浸透、廃棄物発生抑制及び省資源・再資源化の推進、資材のグリーン購入ガイドライン作成、さらに2002年度に予定する環境会計導入に向けての活動を一層強化充実してまいります。

当年度の主な取り組みについて

環境マネジメントにおいて

- ・ 全社環境負荷データ管理の仕組み構築
- ・ 環境報告書発行、環境ホームページの充実化等

生産活動において

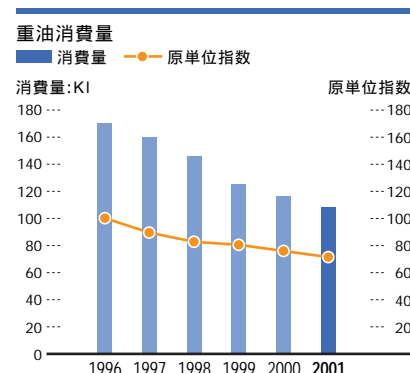
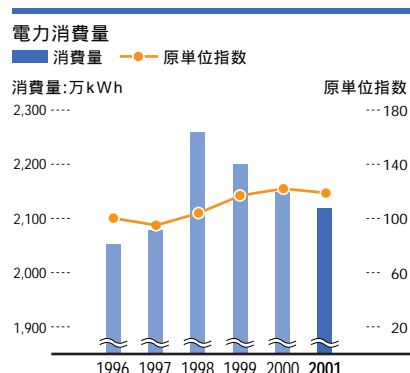
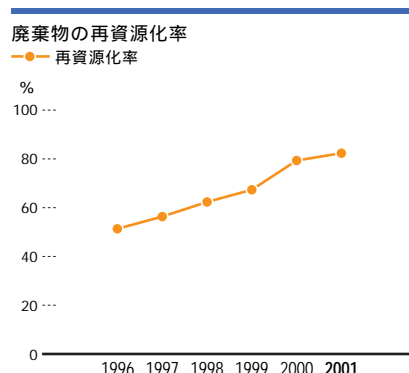
- ・ 藤沢工場へのエネルギー計測システム導入など省エネ取り組みの強化により、全生産事業所トータルの消費電力量を前年度比1.8%削減
- ・ 全生産事業所における廃棄物再資源化率を前年度比3%UPの82%に向上等

技術開発において

- ・ 高性能化と環境負荷低減を実現したスマートバルブポジション (AVP3000Alphaplus)
- ・ 高度制御伝送機能と小型化を実現したBAシステム用少点数端末伝送装置 (C-DGP)
- ・ 省資源と長寿命を追求したデジタルプロセスレコーダ (スマートレコーダSRFシリーズ) 等

環境配慮型製品において

- ・ 社内環境ラベル認証制度の導入等





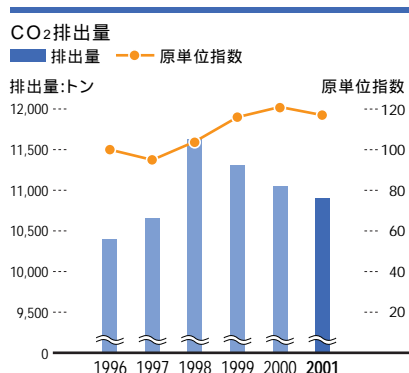
環境ラベル

「国等による環境物品の調達に関する法律（グリーン購入法）」が2001年4月1日から施行されました。今後、国、地方自治体をはじめとする多くのお客様は、環境ラベル等による環境情報を開示した製品を優先的に調達する方向にあります。

山武グループでは、お客様へ環境情報を積極的に公開するために、ISO14021環境ラベルタイプII（自己宣言型環境適合ラベル）に対応する社内基準を制定しました。

山武グループの環境ラベル適合判断基準（抜粋）

1. 環境設計アセスメントを実施していること
2. 製品開発の重点指針に示す7項目のうち、1項目以上を30%以上改善し、総合評価がプラスであること
または、総合評価で改善率が10%以上であること



山武グループ初の環境ラベル表示製品として喫煙対策用エアクリーナ「グリーンピオ・タワー」FNB780Bを開発し、販売を開始しました。

